

九州における広域MaaS推進事業

九州各地のMaaS実行組織を通じて実施したMaaSアプリ“my route”による展開を、未導入の各県を中心に面的に九州全域に整備する。交通事業者、官民、幅広いプレイヤーによる共創で、持続可能な地域交通ネットワークづくり、観光の魅力・競争力向上に活用する。併せて九州が一体となった運営組織を設立し、MaaSの社会実装・持続可能なスキームの構築を進める。

協議会の 構成員	【幹事】九州旅客鉄道(株)、西日本鉄道(株)、第一交通産業（株）、全日本空輸(株)、トヨタファイナンシャルサービス(株)、（一社）九州経済連合会、（一社）九州観光機構 各地に設置済の官民連携MaaS実行組織（福岡県糸島・宮崎県・佐賀県・大分県・長崎県・熊本県水俣市 他）（今後各地に設置する実行組織も随時参画）		
地域 課題	● 少子高齢化、人口減少に加えコロナ禍による厳しい交通事業者の経営環境下での、持続可能な地域交通ネットワークの構築 ● ポストコロナを見据えた観光の競争力向上 ● MaaSアプリ・PFを通じた利用実績データの取得・幅広い利活用と、MaaSの持続可能な運営スキームの構築 など		
事業 概要	サービス 開始時期	2022年度夏 長崎県スタート 2022年度秋 熊本県スタート 2022年度冬 鹿児島県スタート ※並行し既存展開地域でも面的な展開、高度なサービス展開を推進	
	エリア	九州・沖縄各県（長崎・熊本・鹿児島は新規展開）	
	MaaS システム	my route （トヨタグループが提供するMaaSアプリ）	
	交通 サービス	● 同一のMaaSアプリ・PFを活用したシームレスなサービス ● 九州を一つのアプリ（ワンストップ）で網羅 ● 交通事業者をまたいで利用可能なデジタルチケットの設定 ● アプリによる多様なモビリティ利用 ● 新たな需要創出を目指した観光・商業など地域コンテンツとの連携（観光施設入場券や特典、商業施設クーポンなど） ● デジタルチケットQRコード判定によるUI向上と利用データ収集	
	交通以外の サービス	● 商業施設・観光施設クーポン提供・販売（交通チケットとのパッケージ販売等） ● 観光・イベント情報提供 ● 行政情報の提供 ● 交通事業者の連携と観光・行政などの連携 ● 地域一体となった観光客を迎える体制づくりと競争力の向上 ● 観光と地域「皆が支える」モビリティ・MaaSづくり ● MaaSの社会実装の推進と持続可能なスキームの構築	
事業 目的	● 九州内で広域に連携したシームレスな移動の実現、MaaSの社会実装の推進 ● 交通事業者の連携とMaaSアプリ・PFを活用した持続可能な交通ネットワークづくり ● ウィズコロナの観光の利便性、競争力の向上 ● 住民や来訪者のMaaSによる行動変容による需要創出とデータ検証による深度化 ● 利用データの取得方法と利活用方法の検証		

取組イメージ
MaaSを通じて提供するサービスのイメージ
九州における広域MaaS（同一PF/アプリ基盤の導入）

・九州全域で地域が一体となったMaaSの社会実装を推進 ・地域住民・訪問者の利便性を向上 ・交通事業者が連携した持続可能な交通ネットワークの構築に活用 ・“ウィズコロナ”の観光の利便性・競争力の向上
「地域の交通事業者・官民が一体となった運営組織」設置による下支え リソース・ノウハウを集約し水平展開 幅広いプレイヤーとの連携を推進 社会実装の推進と持続可能なスキームを構築 関係者が一体となってデータを活用
評価指標
評価指標、目標、測定方法などを記載
● 九州7県におけるサービス展開の実現と九州広域での推進組織の設置 ● 域内のデジタルチケットの販売枚数：30,000枚/月以上（アプリ管理画システムより確認） ● アプリサービスによる公共交通利便性向上：満足度70%以上（アンケート調査） ● 移動総量の増加：「サービスが外出のきっかけとなった人」の割合70%以上（アンケート調査） など
今後の方向性
● 交通事業者、官民の連携による利便性向上策の実施と持続可能な交通ネットワークづくりを推進 ● 九州一体となった観光の利便性・競争力の向上策の実施 ● 統一プラットフォームの利点を活かし、行政サービス、商業、観光、生活サービスなど幅広い連携を推進するなど、地域に必要なインフラとして社会実装を推進する ● 九州が一体となった運営スキームを構築し、データの活用を推進し、取り組みの持続可能性を高める